

地 域 連 携

だ よ り

彦根市立病院  
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地  
TEL : 0749-22-6050 (代)問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室  
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

## 泌尿器医療の オールラウンダーを目指して!

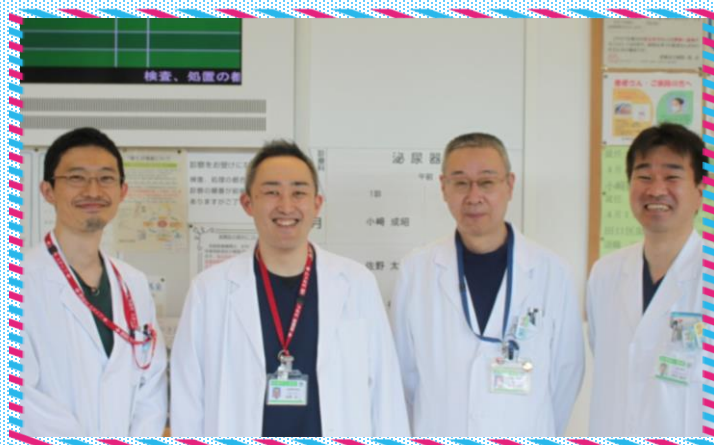
### 泌尿器科部長 佐野 太一



日頃は病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。当院泌尿器科では本年3月末をもって城・出口医師の2人が退職し、4月から田口・小崎医師の2人を迎え、長谷主任部長（副院長）を筆頭に、地域の中核病院の診療を担う一員としてスタッフ一同精進しております。

泌尿器科診療は、中核となるがん診療、患者数が多い尿路結石症、排尿の困りごと、膀胱炎や腎盂腎炎といった尿路感染症、腎不全・透析医療、先天性疾患を含めた小児泌尿器科分野、男性不妊症や男性更年期障害など多岐にわたります。ますます高齢化が進む中、当科需要の高まりを実感するとともに、オールラウンドに対応できるように日々研鑽を続けてまいります。

がん治療については、手術のみならず、化学療法（抗がん剤治療）や放射線治療も行っています。2020年度はコロナ禍でやや少なかったのですが27人の患者さんに前立腺癌に対する放射線治療を行いました。



写真左端から小崎医師、佐野部長、長谷副院長、田口医師

尿路結石症では、体外衝撃波治療と並行して内視鏡手術を行っております。経尿道的尿路結石除去術は県下でも指折りの症例数で、地域の先生方からのご紹介のお蔭と感謝しております。結石除去成功率は95%を超え、標準的には5日間前後の入院は必要ですが、非常に治療効果の高い治療であると考えられます。大きな腎結石に対する内視鏡治療としてはECIRS（Endoscopic Combined IntraRenal Surgery）を2年ほど前から導入し良好な治療効果が得られています。今後もチームワークを高め、より良い手術治療を心がけたいと考えております。

泌尿器科緊急疾患については、透析部門を含め24時間のオンコール体制で対応しております。より良い医療を提供できるように努力してまいりますので、今後ともより一層のご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# あらゆる結石を退治する!!

～最新の結石治療ECIRSやっています!～

7  
2021

## ◆当院の尿路・腎結石の治療

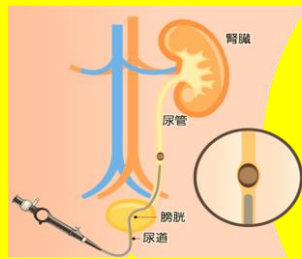
一生のうちに尿路結石を患う割合は、男性では7人に1人、女性では15人に1人と決して珍しい病気ではありません。

1cmまでの結石の3分の2は自然排石しますが、排石しない結石へは手術治療が必要です。大きく分けると、**体外衝撃波治療**と**内視鏡手術**があります。内視鏡手術は結石の位置や大きさにより内視鏡を入れる経路やどの内視鏡を使うかを選択します。**ECIRS術**はPNL術と比較して合併症のリスクも低下させ、**難治性の腎結石にも有効な治療方法**です。

当院ではどんな結石にも対応できる機材と技術を備えています!

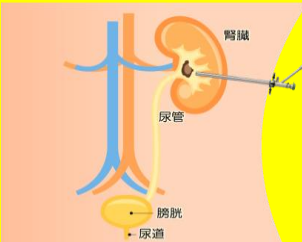


### TUL



- 2cmまでの尿管結石・腎結石が適応になります
- 尿の出口から細い内視鏡を挿入し、結石を画面で見ながらレーザーで碎石し体外へ摘出します
- 軟性尿管鏡とホルミウムレーザーを使用することで、従来の方法（硬性尿管鏡）では正面に見えない結石も対応することができます

### PNL

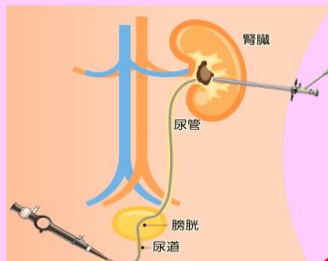


- 2cmを超える腎結石が適応となります
- 背中から腎臓の中まで針を刺し、その穴を約1cmまで広げた後に内視鏡を挿入し結石を碎石し摘出します
- TULよりも大きなかけらを取り出せる一方、腎臓を穿刺するため出血が多くなることがあります

## 最新腎結石治療ECIRS術!! 出血のリスクが低く、残石を減らす

最新治療

### ECIRS



- TULのように尿道から尿管鏡を挿入し腎臓の内側から観察しながら、PNLと同様に背中から針を刺して腎臓に穴を開けます。腎臓の中に針が入ってくる画像が内側から見えるため、大きな血管を貫通していないことが確認できます
- 血管の損傷を最小限にできるため出血のリスクが低く安全性が非常に向上しました
- 背中から入れた内視鏡で死角にある結石も、尿管からの内視鏡でとらえることができるため、残石を減らすことができます

当院はどんな結石でも治療可能ですが、安全に手術を行うことを第一に考え最新の治療法を導入しています。診療・検査・手術治療に関するご相談をお待ちしています。



高齢者の排尿に関するトラブルは増加しており、生活の質を低下させる要因となってお困りの方もいらっしゃると思います。

尿道カテーテルを抜去した後に尿閉や失禁、排泄行為に何らかの介助が必要になる患者さんが約半数を占めています。当院では入院患者さんの排尿に関する問題をより早く、包括的に解決できるように医師、看護師、作業療法士からなる排尿ケアチームを発足しました。

排尿ケアチームは下部尿路障害による腎障害を予防し、患者の残存能力や家族の介護力を活用し、自分で排尿ができることを目標に、排尿ケアチームと現場のスタッフが協働し取り組んでいます。



## ◆ 排尿ケアチームの取り組み

### ①患者の下部尿路障害を見逃さない — 排尿日誌の作成 —

患者の排尿時間、尿量や残尿、飲水量を記入し尿閉や過活動膀胱の泌尿器疾患が隠れていないかアセスメントします。必要時には泌尿器科受診がスムーズにできる体制をとっています。また生活指導や排尿誘導などに活用します。

昼間			夜間(夜間中)		
時間	排尿量	尿失禁	時間	排尿量	尿失禁
7時	150ml		1時	120	尿に染み
9時30分	60		4時30分	60	
11時	80				
13時	100	尿に染み			
15時30分	80				
17時30分	60				
20時	120	尿に染み			
21時30分	60				
23時	80				

排尿日誌

### ②尿閉に対する取り組み

残尿が疑われた時はすぐに測定できる環境にあります。残尿が多ければ導尿を行ない膀胱収縮機能の回復を図ります。



残尿測定器

### ③排尿動作の自立に向けて

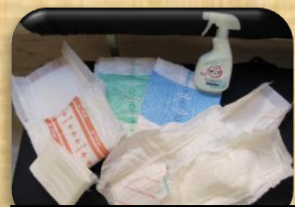
排尿日誌をもとに患者の排尿パターンに合わせた定時誘導やケア方法を統一し、トイレで排泄ができるように作業療法士や理学療法士、看護師が協力し取り組んでいます。



排尿動作訓練

### ④排泄ケア用品の使用や情報提供

失禁患者に対して排泄物による皮膚障害を防ぐために、患者に適したスキンケア用品やオムツを使用しています。失禁のまま退院となる場合は、患者さん本人や介護する家族が負担なく生活できるように、オムツの選び方や自立排泄時の注意点などの退院指導を行っています。



オムツの選択指導

## ♥ 排尿に関するお悩み相談 ♥

患者サポート窓口：頻尿や尿漏れ、オムツの選択や排尿行動での困りごとなどの電話相談も承っておりますのでお気軽にご相談ください

外来：退院後も排尿に関するお困りことがあれば外来受診時に気軽にご相談ください

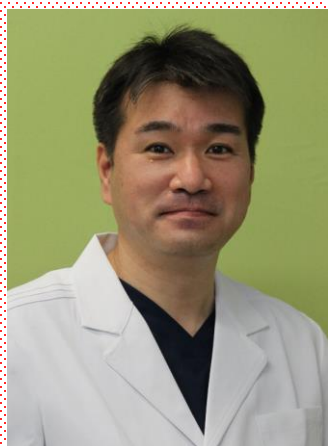
排尿ケアチームは地域の皆様が排泄に関して安心して過ごせるように支援することが目標です。皆様からのご相談をお待ちしております。



# New Face! 新任医師紹介



このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願いたします。



泌尿器科  
田口 俊亮

◆大学卒業年	2016年
◆専門分野	泌尿器科全般
◆所属学会	日本泌尿器科学会 日本透析医学会
◆出身地	大阪府
◆抱負	丁寧な診療を心がけ、湖東の医療に貢献してまいります
◆座右の銘	平常心



消化器外科  
佐々木 悠大

◆大学卒業年	2015年
◆専門分野	消化器外科
◆専門医・認定資格	外科専門医
◆所属学会	外科学会・臨床外科学会 消化器外科学会 内視鏡外科学会
◆出身地	大阪府
◆抱負	地域の方々に貢献できるように頑張ります
◆座右の銘	毎日ちよつとでも前進



形成外科  
前川 恭慶

◆大学卒業年	2016年
◆専門分野	形成外科一般
◆所属学会	日本形成外科学会 日本創傷外科学会 日本眼瞼義眼床手術学会
◆出身地	京都府

